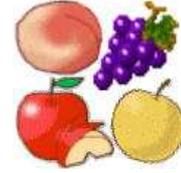


平成24年度 果樹情報 第12号

(平成24年9月7日)



福島県農林水産部農業振興課

1 気象概況 (8月4～6半旬：果樹研究所)

平均気温は4半旬が27.2℃で平年より2.4℃高く、5半旬が27.8℃で3.0℃高く、6半旬が27.7℃で平年より3.3℃高い状況でした。この期間の降水量は4.5mmで平年の7%でした。

2 土壌の水分状況 (8月31日現在)

果樹研究所における土壌水分 (pF値：無かん水・草生栽培りんご園) は、深さ20cmと40cmは乾燥により測定不能、深さ60cmが2.4で乾燥状態にあります。

3 生育概況 (果樹研究所)

(1) モモ

ア 果実肥大 (9月1日現在)

果実肥大を暦日で比較すると、「ゆうぞら」は縦径が72.7mmで平年比97%、側径が76.8mmで平年比94%と平年よりやや小さい状況です。

また、満開後日数による比較では、平年よりやや大きい状況です。

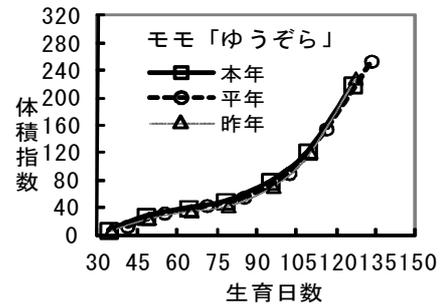


図1 モモの果実肥大 (9月1日現在)

イ 収穫期と果実品質

「まどか」の収穫盛りは8月20日で平年より7日遅く、果実の大きさは322g、糖度は13.7%でした。

「川中島白桃」の収穫始めは8月28日で平年より3日遅れました。

「ゆうぞら」の収穫始めは9月3日で平年より2日遅れました。

(2) ナシ

ア 果実肥大 (9月1日現在)

果実肥大を暦日で比較すると、「豊水」は縦径が72.0mmで平年比98%、横径が82.5mmで平年比98%と平年よりやや小さい状況です。

また、満開後日数による比較では、平年より大きい状況です。

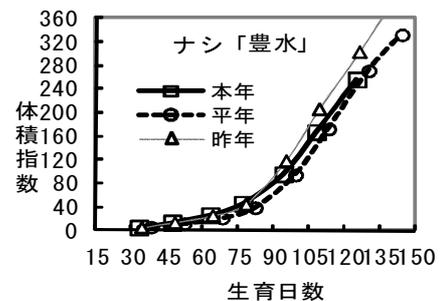


図2 ナシの果実肥大 (9月1日現在)

イ 「幸水」の成熟状況

「幸水」の収穫始は8月28日で平年より1日遅れました。満開後99日 (8月8日)～満開後122日 (8月31日)にかけての果実成熟調査によると、8月中旬頃から果実硬度は概ね平年並に推移しました。糖度は、調査開始当初は平年並でしたが、収穫時には平年よりも高くなりました。

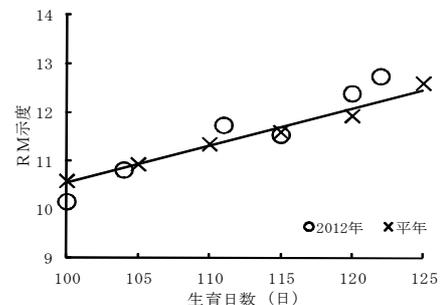


図3 満開後日数と糖度 (RM示度) の関係 (幸水)

ウ 「豊水」の成熟経過（満開後124日現在）

8月31日における成熟調査の結果は、果実硬度が6.9ポンドでほぼ平年並、果皮中クロロフィル含量は9.0 $\mu\text{g}/\text{cm}^2$ で平年と比較して高く、糖度は12.3で平年より高い状況でした。

(3) リンゴ

ア 果実肥大（9月1日現在）

果実肥大を暦日で比較すると、「ふじ」は縦径73.9mmで平年比104%、横径が80.6mmで平年比104%と平年よりやや大きい状況です。

また、満開後日数による比較では、平年より大きい状況です。

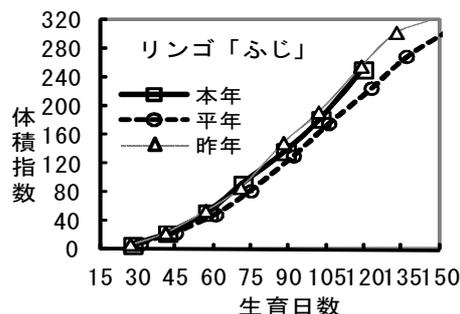


図4 リンゴの果実肥大（9月1日現在）

イ 「つがる」の成熟経過（満開後123日現在）

9月3日（収穫盛）における果実品質は、硬度が12.8ポンド、デンプン指数は4.0（デンプン指数は1の5段階評価。数字が小さい方が未熟。）、糖度は13.2%、リンゴ酸は0.26%でした。

ウ 「つがる」の収穫期

「つがる」の収穫始めは、8月31日で平年より3日遅く、収穫盛は9月3日で平年より1日早い状況でした。

(4) ブドウ

ア 果実成熟（満開後75日現在）

8月29日における無核栽培「巨峰」（長梢）の成熟状況は、糖度が18.1%、果皮色が9.2の状況でした。また、酒石酸含量は0.62%、糖酸比は29.3となっており、酸含量の低下がやや早い傾向となっており、近日中に収穫開始となる見込みです。

4 栽培管理上の留意点

(1) モモ

ア 秋肥の施用

収穫後、9月のできるだけ早い時期に秋肥を実施し、樹勢の回復につとめましょう。秋肥は尿素を中心とした速効性肥料を用い、窒素成分で7kg/10a程度（あかつき：中肥沃度地帯の場合）施用してください。

表1 モモの施肥基準

地帯区分	品 種	目標収量 (kg/10a)	施肥量 (kg/10a)					
			N				P ₂ O ₅	K ₂ O
			秋肥	冬肥	春肥	追肥		
肥沃度中	日川白鳳・暁星	2,400	5	5	2	—	10	12
	あかつき	2,600	7	5~7	2	—	10	12
	川中島白桃・ゆうぞら	3,000	8	6~8	2	—	10	12
肥沃度高	日川白鳳・暁星	2,400	5	5	—	—	10	12
	あかつき	2,600	7	5	—	—	10	12
	川中島白桃・ゆうぞら	3,000	8	6	—	—	10	12
流亡程度大	日川白鳳・暁星	2,400	5	—	4	2	10	12
	あかつき	2,600	7	—	4	2	10	12
	川中島白桃・ゆうぞら	3,000	8	—	4	2	10	12
腐植質火山灰土	日川白鳳・暁星	2,400	7	5	—	—	10	12
	あかつき	2,600	7	5	—	—	10	12
	川中島白桃・ゆうぞら	3,000	8	6	—	—	10	12

注：土壌表面は部分草生、秋肥は9月、冬肥は11~12月、春肥は2~3月、追肥は6月。

イ 秋季せん定

若木などで樹勢が強く、徒長枝の発生が多い樹では、9月中旬頃（徒長枝が太る前）に秋季せん定を実施し、樹勢の安定化を図りましょう。また、樹勢が弱い樹では、秋季せん定は控えましょう。

(2) リンゴ

ア 中生種の収穫前管理

各品種の生育状況に合わせ、摘葉や玉回し等の着色管理を遅れないように実施しましょう。気温が高い日が続く場合は、日焼け果の発生が懸念されるため、最初は果実に直接付いている葉を中心に軽めの摘葉を行い、その後気温の状況に応じて程度を強めて実施しましょう。

イ 落果防止剤の散布

中生種の「ジョナゴールド」等の落果防止剤としてストップール液剤を散布する場合、使用時期は収穫開始予定日の25～7日前（使用回数は2回以内）なので収穫期には十分注意しましょう。

(3) ナシ

ア 施肥

「幸水」の収穫終了後、9月中旬頃を目安に礼肥を施用しましょう。礼肥は、尿素などの速効性の窒素肥料を用い、N成分で4～5kg/10a施用しましょう。その他の品種（「豊水」「二十世紀」等）でも収穫が半分以上過ぎれば果実品質への影響は小さいと考えられるので、できる限り早く礼肥を施用しましょう。

イ 落果防止剤の散布

「二十世紀」等の落果防止剤の散布が必要な品種は、使用時期と他の中晩生種への飛散防止に注意しながら散布しましょう。

(4) ブドウ

ア 「巨峰」の収穫における留意点

(ア) 収穫適期の把握

収穫時期は、気象条件や園地条件等によって異なります。また、樹勢や着果量、房の大きさ等によっても違ってくるため、収穫前には必ず果皮色や食味を確認し、適期収穫を心がけましょう。

(イ) 収穫時の注意点

- 雨の日やその直後の果実は糖度が低く、日持ちも悪い傾向があります。できるだけ収穫前の2～3日が晴天で、当日も晴れている日に収穫するよう心がけましょう。
- 収穫は、日持ちを向上させる目的で果実温度の低い早朝などに行いましょう。
- 主枝の先端や日当たりが良く登熟が進んだ枝の果実は成熟が早いので、優先して収穫しましょう。
- 果粉を落とさないために、収穫果実は穂軸を持ち、果粒には直接さわらないように注意しましょう。

5 病虫害防除上の留意点

(1) 病害

ア リンゴ褐斑病

昨年、本病の発生が多かった園や、既に発生が認められる園では、9月上旬の防除を徹底しましょう。

イ モモせん孔細菌病

県内の発生量は平年より多い状況にあり（8月31日付、病虫害防除所注意報発表）、秋期感染が多くなるおそれがあります。翌春の春型枝病斑の発生は、9月中～下旬に降水量が多いと多くなる傾向にあるため、収穫が終了したほ場から直ちに防除を実施し、越冬病原菌密度の低下を図りましょう。

秋季防除は、9月上旬～10月上旬に2回以上実施してください。

ウ ナシ黒星病

今後、冷涼多雨な気候になると翌年の伝染源となる芽への感染が増加するため、秋季防除を徹底しましょう。

薬剤防除では、耐性菌の出現を防止するため同一系統薬剤の使用回数に十分注意しましょう。本病の発生が見られる園では、棚上の枝葉にも十分薬剤がかかるように、丁寧な散布を心がけましょう。

(2) 虫 害

ア ナシヒメシンクイ

第3世代以降はナシ果実への寄生が増加します。例年、ナシ中晩生種で果実被害が多い地域では、9月1半旬頃までに防除を実施しましょう。

また、シンクイムシ類の被害果を発見したら摘除し、水づけ等により適切に処分しましょう。

イ リンゴコカクモンハマキ

第2世代の防除適期は、平年並の9月2半旬頃と予想されます。モモでの密度が高い場合は収穫後も防除を実施しましょう。

ウ モモハモグリガ

第6世代の防除適期は、9月5半旬～10月1半旬頃になると推定されます。園地の状況を確認し、密度が高い園では越冬密度を低下させるために収穫後であっても防除を実施しましょう。

エ カイガラムシ類

クワコナカイガラムシ第2世代幼虫の防除適期は、平年並の9月上旬頃と予想されます。合成ピレスロイド剤やネオニコチノイド剤等を多く使用した園地では、天敵類の減少によるカイガラムシ類の増加に注意しましょう。

越冬雌成虫の誘殺を目的としたバンド処理は9月中旬頃までに行ってください。

オ カメムシ類

フェロモントラップでの誘殺数は平年に比べ多い状況が続いている（病害虫防除所調べ）ため、今後の発生動向に注意しましょう。

表2 果樹研究所におけるモモハモグリガ防除時期の推定

(平成24年9月3日)

今後の気温予測	第5世代成虫盛期	第6世代防除適期
2℃高い	9月18日	9月23日
平年並み	9月20日	9月26日
2℃低い	9月25日	10月3日

注) 演算方法は三角法による、起算日は8月27日

病害虫の発生予察情報・防除情報

病害虫防除所のホームページに掲載していますので、活用してください。

<http://www.pref.fukushima.jp/fappi/>

農薬散布は、農薬の使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょう。